

2021年度事業計画

- ※ この事業計画は、「一般社団法人北海道介護福祉士会 定款」に従って作成したものである。
- ※ COVID-19ステージ3以上でオンライン開催と判断することがある。

(1) 介護福祉を通して、社会福祉の増進に資する事業

- 1 札幌市介護保険・障害者自立支援関係
 - ① 介護認定審査会への審査委員の派遣
 - ② 障害支援区分認定等審査会への審査委員の派遣
- 2 北海道「次世代の担い手育成推進事業」
福祉教育アドバイザーの派遣
2021年5月釧根支部 2021年8月札幌支部
- 3 災害に対する道内の連絡メカニズム、・道内外に対する応援体制・受援体制の構築等の検討
- 4 「介護に関心のある方のための入門的研修」への協力
(北海道社会福祉協議会主催)
- 5 「介護の基礎確認講習会～有資格者・現場経験者向け～」 「介護の基礎知識を学ぶ講習会～無資格者向け～」への協力(新設)(北海道社会福祉協議会主催)

(2) 介護福祉・障がい福祉及び保健に関する講演会等の啓発事業

- 1 「介護の日」普及事業
介護の日：2021年11月11日(木)
「福祉四団体主催」福祉関係の普及事業
四士会会長会・実行委員会の実施
 - ・介護の日普及啓発事業は北海道が主催し、道内の商業施設にてイベントを開催しています。「福祉四団体」としては、ソーシャルワーカーデーのイベントを絡めて相談ブースを設置しています。
- ☆福祉四団体
社会福祉士会・精神保健福祉士協会・医療ソーシャルワーカー協会・介護福祉士会

2 仕事説明会（主に北海道社会福祉協議会が主催）への人員派遣

(3) 介護福祉・障がい福祉に関する業務に従事する為の資格取得事業

1 介護福祉士国家資格受験対策

① 全国一斉模擬試験の実施 2021年12月頃

(4) 福祉・保健・医療その他関係団体との連携及び情報交換に関する事業

1 公益社団法人日本介護福祉士会 北海道・東北ブロック研修会

2 公益社団法人日本介護福祉士会

2021年 第28回全国大会・第19回日本介護学会・学術集会オンラインにより同時開催

日時：2021年11月21日（日）

テーマ「新しい時代の始まりに向けて」

内容：行政説明（予定）／基調講演／トークセッション／タウンミーティング

3 公益社団法人日本介護福祉士会 全国会長会

日本介護福祉士会の日程による

(5) 介護福祉士の資質向上に関する研修会等の開催に関する事業

1 生涯研修

① 介護福祉士基本研修 オンライン研修

日程：2021年11月13日（土）、2021年11月14日（日）

2021年11月27日（土）、2021年11月28日（日）

定員：15名

趣旨：日本介護福祉士会では、介護福祉の専門性を「利用者の生活をより良い方向へ変化させるために、根拠に基づいた介護の実践とともに環境を整備することができること」としており、介護過程の展開による根拠に基づいた「介護実践」は、介護福祉士の専門性の重要な一つの要素として位置付けているところです。

この介護福祉士基本研修では、実務経験で積み上げてきた実践値（知）を土台として、介護過程を展開し、根拠に基づいた介護を実践するための知識や技術、倫理観を改めて学び、専門職としての第一歩を踏み出すことを目的として実施するものです。

※本研修はファーストステップ研修の受講要件として、必須となっています。

② ファーストステップ研修（15日間）

日程：2021年6月26日（土）～2022年1月16日（日）

会場：かでの2・7（2021年6月26日集合・2日目以降はオンライン）

定員：15名

趣旨：基礎的な業務に習熟した介護福祉士を対象として、的確な判断、対人理解に基づく尊厳を支えるケアが実践でき、小規模チームのリーダーや初任者等の指導係として任用することを期待できるレベルの視点や技術を有する職員を養成する。

また、小規模チームのリーダーや初任者等の指導係への役割任用の有無にかかわらず、できるだけ多くの介護福祉士が受講し、資格取得ルートの違い、業種や各職場でのケアの理念・実務環境の違いによる経験・能力の違いを補完し、ケアの理念、職業倫理、たゆみなく自己研鑽に向かう行動等の共通の能力基盤を確立するとともに、キャリアについての展望を持つことで職場の定着を図る。

☆ファーストステップ公開講座「利用者の全人性・尊厳の実践的理解と展開」

日時：2021年6月26日（土） 集合研修

講師：公益社団法人日本介護福祉士会 会長 及川 ゆりこ 氏

会場：かでの2・7

定員：25名

注意：公開講座単独で受講の場合は、ファーストステップ研修の単位にはなりません

☆ファーストステップに興味のある方、学生等広く介護を実践している方に受講して頂き、ファーストステップ研修の理解や、介護福祉士の理解をして頂くことを含めて、導入部分の研修を実施致します。

③ 認定介護福祉士養成研修

日時：2022年2月～3月頃

「（領域名）認定介護福祉士養成研修導入・（科目名）認定介護福祉士概論」

講師：太田貞司先生

趣旨：本研修事業は、介護福祉士の資格取得後も継続的な教育機会を提供して資質の向上を図り社会的要請にこたえていくことを目的につくられた介護福祉士のためのキャリア構築の仕組みの認定介護福祉士を養成する。

☆生涯研修最上位の研修として、「一類 7領域13科目」「二類 4領域9科目」600時間（内課題学習を可とする時間 264時間）を3年に渡って実施します。

2 専門研修

① 第一回研修会 オンライン開催

日時：2021年5月15日（土）

テーマ：「北海道で創られる介護福祉士のキャリアとは」

－認定介護福祉士の養成を見据えたキャリア構築－

講師：長野県介護福祉士会 認定介護福祉士 甲田孝子 氏

定員：45名

趣旨：我が国における急速な少子高齢化の進展に伴い、2025年以降、介護・支援が必要な人はさらに増加することが見込まれる。その背景から、可能な限り住み慣れた居宅や地域で「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」の5つのサービスを受ける事ができる「地域包括支援ケアシステム」が推進されている。この現状を踏まえ「地域包括ケアシステム」が成立する一つに「介護福祉士」を含めた介護の専門性を根拠とした資質と能力が求められる。初回の要請にこたえるためにも「介護福祉士のキャリア構築」のあり方と方法を私たち自身で作りに上げていくことが求められる。

② 専門研修Ⅰ

日時：2021年12月11日（土）オンライン研修

テーマ：「自立支援を考える介護過程を学ぶ」

会場：かでの2・7

定員：45名

趣旨：介護現場で経験年数や資格取得経歴に関係なく介護福祉士として知識や技術を駆使し利用者の本当の望む生活を専門性から考え、興味を持って知る視点をいかに焦点を当てて分析を行い根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を養うことで自立支援を考えることができ今回は事例にて高齢者だけでなく障害者の介護過程も学ぶ。

③ 専門研修「北海道認知症介護基礎研修」 オンライン研修（支部合同企画有）

日程：2021年7月9日（金）

日程：2021年8月20日（金）

日程：2021年10月以降（支部合同企画）

研修のパッケージができていますので、各支部での研修開催に向けて資源として提供できる。

定員：各回25名

趣旨：これからの我が国は更なる高齢化の進展に伴い、認知症の人はさらに増加することが見込まれ 2025（平成37）年 約700万人（約5人に1人）なる。認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）において、認知症の人を単に支えられる側と考えるのではなく、認知症の人が認知

症とともによりよく生きていくことができるような環境整備が必要とされており、その必要性に一つに介護の専門職である介護福祉士は、認知症介護の専門職であることが望まれている。

認知症介護に携わる介護福祉士が、基礎的な知識・技術とそれを実践する際の考え方を習得して、チームケアに参画できるよう、職能団体である介護福祉士会が本研修を行う意味は大きいと考える。

④ 介護職種の技能実習指導員講習 集合研修

日程：2021年9月26日（日）

日程：2021年10月24日（日）

会場名：旭川・札幌の予定

定員：各回30名

趣旨：日本介護福祉士会が厚生労働省から受託した補助事業(介護職種の日本語学習等支援事業)は、介護職種の技能実習生の技能修得等が円滑に図られるよう、適切な実習体制の確保を目的としている。

今年度も介護現場で指導に当たる技能実習指導員に対し、指導に必要な知識・技術を修得していただくことを目的に、介護職種の技能実習指導員講習を開催する。

⑤ 災害ボランティア育成研修 オンライン研修

日程：2021年7月3日（土） 13:00～16:30

定員：50名

趣旨：本研修を修了した北海道介護福祉士会会員が、どのような状況においても介護福祉士としての専門性をもった視点で被災者をケアし、社会貢献できる人材を養成する。今年度はコロナ情勢を鑑み、感染対策（ガウンテクニック）を行った上で生活支援技術を行い、利用者にかかる負担や介護職が感じるケアのしづらさを体験する。

(6) 介護福祉士の教育機関に協力し、教育の向上に資する事業

1 介護福祉士実習指導者講習会 集合研修 or オンライン研修

日程：2021年7月31日（土）～2021年8月15日（日）

日程：2021年8月28日（土）～2021年9月12日（日）

日程：2021年10月16日（土）～2021年10月31日（日）

会場：札幌市・旭川市

☆実習指導者打ち合わせ会

趣旨：2007（平成19）年、介護福祉士養成カリキュラムの見直しにともない、実習施設の要件とともに実習指導者の要件も見直され、実習指導者講習会が義務付けられました。それから10年を経て、2017（平成29）年度に介護福祉士養成課程の更なるカリキュラム改正が行われ、2019

(令和元)年度より順次、新カリキュラムが導入されることとなりました。この改正においては、介護職のグループの中で中核的な役割を果たし、認知症高齢者や高齢単身世帯等の増加などに伴う介護ニーズの複雑化・多様化・高度化等に対応できる介護福祉士を養成することを目的としています。

2 新カリキュラム対応 介護実習指導研修 オンライン研修

日程：2021年7月10日(土)

定員：35名

趣旨：平成29年の新カリキュラム前に介護実習指導者講習会を受講している方に対して、今回の見直し内容等についての周知及び理解の促進を図る

3 北海道地区高校生介護技術コンテスト

担当校：置戸高校

(7) 介護福祉士の社会的地位向上に関する事業

1 他の関連団体との連携

- ・公益社団法人北海道社会福祉士会
- ・一般社団法人北海道精神保健福祉士協会
- ・一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会
- ・社会福祉法人北海道社会福祉協議会
- ・一般社団法人北海道医師会
- ・北海道介護福祉士養成施設協会
- ・日本認知症ケア学会北海道地域部会及び北海道認知症ケア研究会

2 他の関連団体との会議等

- ① 北海道認知症グループホーム協会理事：野口会長
- ② 医療と介護の連携の推進に向けた意見交換会：野口会長
- ③ 苦情対応・処理委員(一般社団法人北海道精神保健福祉士会)：野口会長
- ④ 北海道医療・福祉関係職能団体等意見交換会：野口会長
- ⑤ 北海道災害支援ネットワーク会議：野口会長
- ⑥ 北海道地域包括・在宅介護支援センター協議会：酒井副会長
- ⑦ 北海道福祉人材センター運営委員：羽山事務局長
- ⑧ 北海道高齢者虐待防止推進委員会委員：川越理事(改選・継続)
- ⑨ 北海道福祉サービス運営適正化委員会選考委員：羽山事務局長
- ⑩ 北海道介護実習・普及センター運営委員：渡邊副会長
- ⑪ 北海道介護人材確保対策推進協議会：野口会長
- ⑫ 認証評価制度基盤整備事業検討会：野口会長
- ⑬ 北海道介護労働懇談会：羽山事務局長

- ⑭ 北海道医師会新年交礼会：正副会長等
- ⑮ 医療を守る道民協議会：正副会長等

(8) 前各号に掲げるもののほか当法人の目的を達成するために必要な事業

1 諸会議の実施

- ① 通常総会 日程：2021年5月15日（土）オンライン
理事・監事等については、集合

- ② 正副会長会 i 2021年6月27日（日）集合
ii 2021年11月7日（日）集合
iii 2022年1月23日（日）集合
iv 2022年3月26日（土）集合

- ③ 理事会 i 2021年7月11日（土）オンライン
ii 2021年11月20日（土）オンライン
iii 2022年2月5日（土）集合
iv 2022年4月16日（土）集合

- ④ 各種委員会 2021年5月16日（日）集合
2021年10月23日（土）集合

委員会統括：野口会長

総務委員会：渡邊副会長（委員長）講師養成研修企画・災害関係・倫理・広報（しおん・リーフレット・HP管理）・規程検討・ロゴ検討・介護の日・福祉四団体・支部懇談会・高校生介護技術コンテスト

研修委員会：酒井副会長（委員長）介護福祉士基本研修・ファーストステップ研修・第一回研修・専門研修Ⅰ・専門研修Ⅱ（北海道認知症介護基礎研修）・新カリキュラム対応実習指導講習・介護福祉士実習指導者講習会・外国人技能実習指導者養成研修・災害ボランティア育成・入門的研修

・各支部研修開催支援事業の検討

北海道介護福祉士会と北海道内10支部の連携と協働による組織力で、介護の職能団体として介護福祉士の資質と能力を高める研修の機会を創り出したい。

そのために、具体的な連携と協働の役割と方法を明確にした事業とする。（2022年度の事業計画に反映）

認定介護福祉士養成研修準備委員会：打田副会長（委員長）

本研修事業は、介護福祉士の資格取得後も継続的な教育機会を提供して資質

の向上を図り社会的要請に添えていくことを目的につくられた介護福祉士のためのキャリア構築の仕組みの認定介護福祉士を養成する

【北海道介護福祉士会として、以下を目的に本研修を実施する】

「地域の介護福祉を支える人財育成（人材育成）」

「介護過程の実践力・チームの構築とマネジメントのできる認定介護福祉士を養成する」

【目的に沿った認定介護福祉士の状態像】

- ・人の尊厳と人権を高度な介護の専門性で護り抜くことができる
- ・介護過程を理解し実践と教育ができる
- ・介護のケース研究ができ、介護実践に展開できる
- ・多職種連携におけるリーダーシップを発揮できる
- ・ケアチームのビルディングとマネジメントができる
- ・高度な専門的スキルを身に付け実践に活かせる
- ・介護福祉士のトップランナーとして影響力を発揮している
- ・介護福祉士など介護職員の育成ができる
- ・地域の人的資源として存在し福祉・介護の増進に貢献できる

⑤ 選挙管理委員会（2022年改選期）

2021年度中に委員会委員を選任・準備

⑥ 支部懇談会 2022年1月22日（土）13:00～ オンライン

⑦ 各支部との個別懇談を web で実施 支部との連携を強める（テーマは研修支援事業について）

2 北海道介護福祉士会広報「しおん」の発行（3回発行）

3 北海道介護福祉士会「ホームページ」の運営

4 公益社団法人日本介護福祉士会 代議員

2021年度・2022年度の代議員 野口 恵子会長

(9) 災害ボランティア関係

1 北海道足湯隊 ミーティング

2 足湯隊活動（現地活動）むかわ町等

【支援金・義援金】

被災地に対して北海道として、支出する。（寄付先・金額については都度協議）